

第5回リカジョ育成賞 各賞が決定しました！

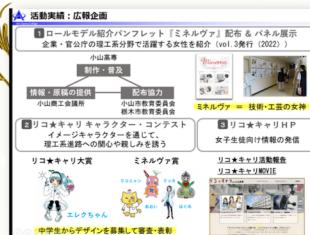
グランプリ

賞状 トロフィー 副賞50万円



独立行政法人国立高等専門学校機構 小山工業高等専門学校

↑柴田美由紀教授（中央）高屋朋彦准教授（右）

贈呈式 成果発表動画
YouTube

テーマ
サイエンスキャラバンで届ける
リケジョライフへの夢

この度は第5回リカジョ育成賞グランプリという栄えある賞を賜り誠にありがとうございます。日産財団の皆様、審査員の先生方に厚く御礼申し上げます。

本校では、次代を担う女性理工系人材の育成のため、一人でも多くの女子中学生に理工系の学びの楽しさや職業的魅力との幸せな出会いを届けたいとの思いから、2019年度にこの取り組みを立ち上げ、2020年度からはJSTの支援を受けて実施してまいりました。より幅広い層に、より効果的にアクセスすることを目指して、生徒の理工系に対する興味の度合いに応じた3つのアプローチ（理工系に関心の薄い生徒には、サイエンスキャラバンで中学校等に出向く訪問型イベントを、文理選択に迷う生徒には、来校してロールモデルの姿に触れてもらう招待型イベントを、理工系の分野選択に迷う生徒には、実験の体験提供型イベントを実施）、保護者や教員、そして地域社会の参画を得ながら、広報活動と併せて展開しております。

今回私どものささやかな取組みをこのような形で評価していただきましては、この上ない喜びであり、大きな励みとなります。最後に、共同・連携機関の皆様、企画に参加してくださった皆様に、この場をお借りして心から感謝申し上げます。

準グランプリ

賞状 トロフィー 副賞30万円



東京都立戸山高等学校

↑松村幸太SSH部主任（右）



一般社団法人スカイラボ

↑石井南帆アンバサダー（中央）楊理咲子アンバサダー（右）

リカジョ育成フォーラム

(贈呈式 第3部)

本賞の過去受賞者によるご講演とトークセッションを行いました！

【テーマ】リカジョの進路選択・キャリア形成における現状とこれから

【講師】前半：国立大学法人筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター ディレクター 横熊亜衣 氏

後半：ライオン株式会社 香料科学研究所長 青野恵 氏



公益財団法人日産財団 | ひとを育て、未来に夢を



YouTube 贈呈式の様子を日産財団チャンネルにて公開中！



〈講評〉

公益財団法人日産財産 第5回リカジョ育成賞の選定について
選考委員長 長谷部 伸治



日産財団では、女子児童・生徒の理科への興味・関心を高める活動の中で、特に優れた成果を残した個人または団体を対象に、「日産財団リカジョ育成賞」を授与している。本年度は、2021年6月1日から2022年1月23日までの公募期間に、昨年度（21件）を上回る26件の申請があり、この中から5月の選考委員会において、第5回日産財団リカジョ育成賞グランプリ候補として3件を選定し、10件に奨励賞を認定した。

COVID-19の影響で、長期に渡り対外活動が制約されている。応募・受賞された皆様には、このような状況を克服するための様々な工夫をして活動を継続されるとともに、その工夫・成果を広く社会に発信していただくことを期待する。また、今回グランプリ候補には選出されなかったが、理系の学協会からも応募いただいた。このような専門家集団の関与は、リカジョ育成に非常に有意義であり、今後とも継続して活動を続けていただきたい。

【第5回リカジョ育成賞 グランプリ】

●小山工業高等専門学校：生徒の理工系に関する意識レベルによりステージを3つに分け、それぞれに対して特徴的な取り組みによって、理工系への進学を支援しようとする取り組みである。女子生徒の意識等の実態を正確に把握し、それを踏まえた取り組みとしている点や、生徒のみならず保護者を巻き込んだ活動としている点、さらに関係市町村や教育委員会と連携して活動している点を高く評価する。JST採択プログラムとしての活動終了後も、これまでの資産を活かし、継続して活動を続けていただきたい。

【第5回リカジョ育成賞 準グランプリ】

●一般社団法人スカイラボ：女子高校生を対象としたワークショップにより、将来のSTEAMリーダーを育成しようとする活動である。よく練られたカリキュラムで実施されている点や、リカジョの底辺を広げる活動に関する応募が多い中でトップを伸ばす活動である点を評価する。参加者の意識変化を定量的に調査されている点も評価できる。将来のリーダー育成という点を考えると、本ワークショップ参加者がどのようなキャリアパスを構築できたかなど、参加者に対する長期にわたる調査にも期待したい。

●東京都立戸山高等学校：大学院生や研究者として活躍する女性との交流会を中心とした取り組みである。自校以外の女子中高生を含めた活動としている点や、単なる講演会ではなく生徒からの発表を含めた会としている点、またその活動を長年にわたり実施している点を評価する。広く参加者を募ることができるオンラインでの活動の利点と、向き合って話ができるという対面実施の利点をうまく組み合わせた活動を、今後とも継続されることを期待する。



今回は、本賞をご後援下さる
内閣府より 男女共同参画局
局長 岡田恵子様にご来臨賜り
力強いメッセージを頂きました。



現在、「第6回リカジョ育成賞」の応募受付中！
皆様のご応募を心よりお待ちしております！ 詳しくはHPまで

〆切:2023年1月9日